

NPO 日本都市農村交流ネットワーク協会 農耕文化研究会

ご案内

【日時】 2013年2月23日(土) 午前11時30分～2時

【会場】 京都生活協同組合 せいきょう会館 4F 会議室

(住所：京都市中京区夷川通烏丸東入西九軒町291)

○最寄駅：地下鉄丸太町駅下車3分 京都新聞本社ビル南、夷川通り南角

【企画】

一、紹介： 京都府の米の生産状況等の概要
一般社団法人 京都府米食推進協会
専務理事 尾松 数憲



一、テーマ1：京丹後産コシヒカリの誕生と栽培の歴史、おいしさの秘密

講師：京都大学東南アジア研究所特任教授、元京都府丹後農業研究所所長 中村 均司

一、テーマ2：「タイ東北部における有機農業運動の展開とフェアトレード」

講師：近畿大学農学部環境管理学科 准教授 鶴田 格

一、お楽しみ企画：試食比較 ☆世界的に比較的高価な米として流通しているタイ産ジャスミン米（香り米）の試食とタイカレーの試食を予定

☆お米の試食・・・京都丹後産“コシヒカリ”、山形県産“つや姫”、北海道産“ななつぼし”等

【参加費用】 一人 500円（試食、カレー代、及び資料代）

【参加申し込み】 FAX、またはメールで受け付けます（裏面）＜締切日：2月10日＞

試食準備のため、必ず申し込みをお願いします。定員50名先着順。

【企画の趣旨】

私たちの主食である米は、自給率100%ですが、近年、生産高は800万tを切り、一人当たりの消費量も年間60キログラムを割っています。また、TPPをめぐる議論も白熱化し、日本農業の将来も懸念されます。

○テーマ1では、平成19年から最高級の「特A」（全国で24産地銘柄）ランキングされている京都府丹後産コシヒカリの誕生と先人達のおいしいコメづくりの苦勞、おいしさの秘密を探り、米について考えます。

○テーマ2では、世界的に高価な米として流通しているジャスミン米（香り米）を通して、タイ国のなかでもっともまずしい地域とされる東北部において展開されている「有機ジャスミン米」のフェア・トレードの運動の取り組みを通して、それが、現地の農村の社会・経済においてどのような意味をもってきたのかを考えます。

この二つのテーマを通して、これからの日本農業や主食である米について意見交換をおこないます。

主催者： NPO法人 日本都市農村交流ネットワーク協会（事務局：吹田知久）

（連絡先 電話080-3853-5682 メール tomohisasuita@gmail.com）

後援： 一般社団法人 京都府米食推進協会

申し込み用紙

申し込み先： NPO 法人日本都市農村交流ネットワーク協会

事務局担当 吹田 知久

FAX番号：075-703-5624

メール： tomohisasuita@gmail.com

以下、申し込みます。

氏 名	住 所	電 話